

走り新茶の生産が可能な暖地に適する極早生品種 「しゅんたろう」

- *「しゅんたろう」は、品質の優れた系統「埼玉9号」を母親に、アッサム種の血も入った極早生系統「枕F1-33422」を父親に交配し、育成した煎茶用品種です。
- *「やぶきた」よりも10日以上早く収穫でき、走り新茶として早期出荷を行う暖地に於いて優位性が発揮できます。
- *茶品質は、やや甘い香りが特徴で、収穫時期が競合する極早生品種「くりたわせ」よりも樹勢や収量性に優れています。
- *重要病害である炭疽病、輪斑病には抵抗性ですが、凍霜害には弱いため、栽培適地は南部の温暖な地域に限定されます。

品種名	早晩性	一番茶		生葉収量	製茶品質	耐寒性	病害抵抗性	
		萌芽期	摘採期	一番茶	一番茶	赤枯れ抵抗性	炭疽病	輪斑病
しゅんたろう	極早生	-16	-15	0.90	23.0	弱	やや強	強
くりたわせ	極早生	-15	-13	0.50	22.0	弱	中	強
ゆたかみどり	早生	-10	-9	1.25	23.5	弱	強	やや強
やぶきた	中生	0	0	0	23.5	やや強	弱	弱

萌芽期、摘採期：やぶきた比（マイナスは早生、プラスは晩生）

収量、製茶品質は育成地（枕崎）でのデータ（生葉収量はやぶきた比）

製茶品質：色沢、水色、香気、滋味の各項目10点満点で審査した合計点（40点満点）

走り新茶として早く収穫したい暖地での普及が期待されます



一番茶摘採期の新芽



一番茶荒茶と水色